

平成25年度

決算を問う



総括質疑

決算特別委員会

決算特別委員会では、9月19日・22日・24日・25日の4日間、21人の議員が決算全般について、質疑を行いました。

平成25年度決算

問 財政白書で財政状況の厳しさを述べているが、歳出決算額1125億円、23区中13位と増大する決算規模とどう結びつけばよいのか。

答 大規模公園整備や扶助費などへ支出した結果である。

基本構想と10年計画の改定

問 重点プロジェクトと各戦略が、四つの領域にどう影響したのかわかりにくい。社会



自由民主党議員団

いづい 良輔

状況の変化を踏まえた新たな区政課題の視点とは何か。

答 子育て施策の充実、地域包括ケア体制の構築、魅力あふれるまちづくりなどである。

問 地域間競争を勝ち抜くには、持続可能な財政運営という視点が欠かせない。改定にあたり目指すべきビジョンは、



公明党議員団

平山 英明

地区防災計画策定の必要性

問 災害対策基本法の改正により、新たに地区防災計画の策定について示された。区内で作成が望まれる地域は、

答 震災は地域まちづくりの推進により、大和町や弥生町等で計画の下地ができてつある。風水害は被害の想定地域が限定的で検討が必要である。

問 内閣府はポータルサイト「みんなで作る地区防災計画」を開設して周知しているが、区でもまずは町会や地域防災会等へ情報提供が必要では

答 自発的な活動の触発となるよう計画の周知を図る。

問 特に風水害の場合、地域防災会や避難所を超えた対策が必要だ。軌道にのるまでは、区主導で計画の検討をしては

答 浸水予想地域ごとに新たな非破壊検査などがある。

定管理者制度を導入しては。整備が進んだ際には指定管理も有力な選択肢と考える。

東中野のまちづくり

問 西口の駅ビル建設や駅前広場の整備による、東中野地域全体への波及効果は、

答 基盤施設の整備強化により、地域の活性化が図られた。東口はバリアフリー化など課題が多い。10年計画に明確に位置付け、地元のみならず、積極的に整備を進めるべきでは、

問 日常的に点検はしているが、詳細調査は初めてである。

答 都では危険箇所が多い区から調査を行うと聞いている。新たな平和事業の推進

問 平和事業の推進に当たり、他自治体との交流実績は、

答 区民が広島等の都市で戦争や平和に関し、レポートする平和の旅や広島市民団体から被爆樹木の2世の苗木を受け植樹する等の交流がある。

問 来年は終戦70周年で、広島・長崎の原爆投下からも70年目である。語り部が高齢化している今こそ広島・長崎へ(仮称)平和の旅を行っては

答 直接会うことは、意義ある取り組みである。経費や他自治体を参考に検討する。



日本共産党議員団

岩永 しほ子

動化を図るため、国に対し財源措置を求めていくべきでは。

問 決算値において、財政調整基金とその他の基金総額は、

答 財調基金が206億円、その他が232億円である。

問 毎年度、財政の厳しさを理由に区民サービスを削り、剰余金を基金に積み立てている。この手法は区民の福祉増進のための財政運営とも財政非常事態とも言えないのでは、

答 執行段階の経費節減や歳入確保で基金の繰入を最小限に抑制した。今後も区民サービスの維持・発展が可能となる財政運営に努めていきたい。

問 利用者の切実な要望に対し改善に向け検討すべきでは、

答 快速にスポーツを楽しめよう、検討していきたい。

問 学校図書法改正により、学校司書の位置付けが明確となった。これまでも区は非常勤職員を配置してきたが、常

答 環境基本計画の改定作業で検討し、タンクについては、まず、普及啓発を図っていく。

中野区議会は、虚礼等の廃止を決議しています

贈らない 求めない 受け取らない

《虚礼等廃止の主な事項》

- 時候の挨拶状の送付
- 中元、歳暮等の贈答
- 慶事、弔事についての廃止事項
 - ① 祝儀、香典、供花の贈与
 - ② 祝電、弔電等の発送
- 病气等の見舞における金品等の贈与
- 新聞、雑誌、名簿、掲示板等への広告
- 各種行事、各種団体に対する寄付・カンパ、祝儀、祝電、金品等の贈与等